

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) **公開実用新案公報 (U)**

(11)実用新案出願公開番号

実開平5-28112

(43)公開日 平成5年(1993)4月9日

(51)Int.Cl.<sup>5</sup>

H 03 F 1/32  
3/189  
3/68

識別記号

府内整理番号  
8836-5 J  
7328-5 J  
B 7328-5 J

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数1(全2頁)

(21)出願番号 実願平3-75845

(22)出願日 平成3年(1991)9月20日

(71)出願人 000004237

日本電気株式会社

東京都港区芝五丁目7番1号

(72)考案者 稲田 隆一

東京都港区芝五丁目7番1号日本電気株式  
会社内

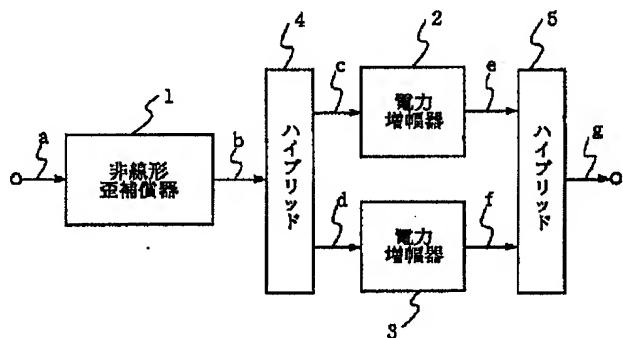
(74)代理人 弁理士 内原 晋

(54)【考案の名称】 電力増幅器

(57)【要約】

【目的】重量・大きさを低減し、信頼度をあげ、非線形歪を改善した電力増幅器を構成する。

【構成】同一の性能を有する電力増幅器2, 3のそれぞれの入力端および出力端が、ハイブリッド4, 5の分配および合成端子に接続され、ハイブリッド4の入力端子には非線形歪補償器1が接続されている。



## 【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】 第1の端子に高周波信号を入力し第2および第3の端子に前記高周波信号を等分して出力する第1のハイブリッド、前記第2の端子に接続される第1の増幅器、前記第3の端子に接続される前記第1の増幅器とほぼ同一性能の第2の増幅器、第1の端子に前記第1の増幅器出力を入力し第2の端子に前記第2の増幅器出力を入力し第3の端子から前記第1および第2の増幅器出力を合成して出力する第2のハイブリッドを含む並列増幅器と、出力端が前記第1のハイブリッドの第1の端

子に接続されて前記並列増幅器の非線形歪みを補償する非線形歪補償器とを有することを特徴とする電力増幅器。

## 【図面の簡単な説明】

【図 1】 本考案の一実施例のブロック図である。

【図 2】 従来例のブロック図である。

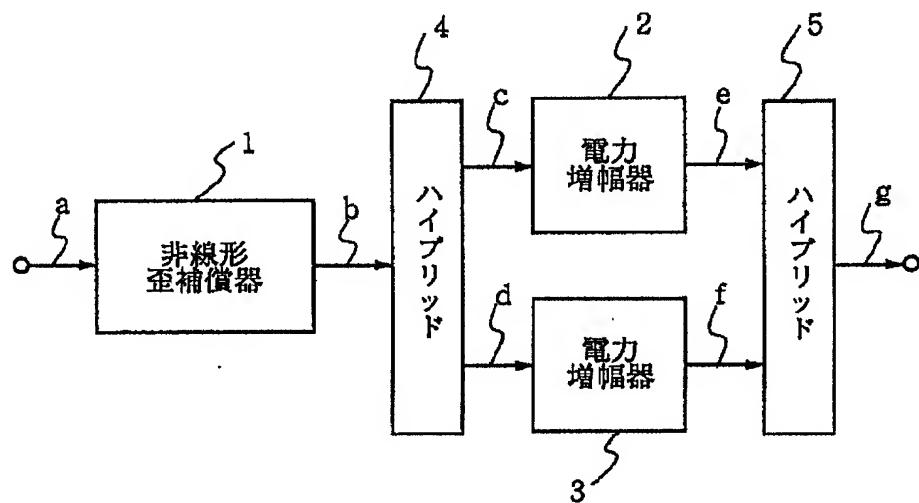
## 【符号の説明】

1, 2 1, 2 2 非線形歪補償器

2, 3 電力増幅器

4, 5 ハイブリッド

【図 1】



【図 2】

